

第47回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和3年10月13日（水）17：00～18：30

2. 会場：庁議室

3. 委員（敬称略 五十音順）

池田 一義 一般社団法人埼玉県商工会議所連合会 会長（WEB参加）

金井 忠男 埼玉県医師会 会長

近藤 嘉 日本労働組合総連合会埼玉県連合会会長（WEB参加）

坂木 晴世 国際医療福祉大学大学院 准教授（WEB参加）

松田 久美子 埼玉県看護協会 会長

光武 耕太郎 埼玉医科大学国際医療センター 教授（WEB参加）

三村 喜宏 埼玉県商工会連合会会長（WEB参加）

4. 県側参加者

大野 元裕 知事

安藤 宏 危機管理防災部長（WEB参加）

山崎 達也 福祉部長（WEB参加）

関本 建二 保健医療部長

星 永進 保健医療部参事

本多 麻夫 保健医療部 参事

板東 博之 産業労働部長（WEB参加）

岸本 剛 衛生研究所 副所長

5. 主な意見

ア 現状の分析・評価について

- イベントやライブでのクラスターが発生していない点は評価に値するため、効果的であった感染対策の取組を他の様々な事業でも共有できると良いのではないか。（坂木委員）
- 今後の対策を検討する上では、第5波で急激に新規陽性者数が減少した要因等を検証する必要がある。（金井委員）

イ 埼玉県における段階的緩和措置等の見直しについて

- 埼玉県における段階的緩和措置等の見直しについて異議なし。（委員一同）

【県の対応】

- 県内の感染状況及び委員の意見を踏まえ、埼玉県における段階的緩和措置等の見直しについて決定した。（10月13日開催 第69回新型コロナウイルス対策本部会議において決定。）

ウ 「ワクチン／検査パッケージ」技術実証の実施について

- 二酸化炭素濃度測定器について、店舗の入口に設置している事例が非常に多いが、このような換気の良い場所では測定する意味がないため、店舗の中でも換気が悪いような、評価指標として意味があるところに設置する必要があるということを周知していただきたい。（坂木委員）
- 感染状況の評価するにあたっては、ラインコロナアプリ等の使用を徹底させるなど、情報が集約されるようにしておく必要がある。（光武委員）
- 技術実証を行うことは意義深いですが、実証の対象となる事業者には面倒をかけることになる。技術実証の意義を理解いただくために、その声に耳を傾けて、実証を進めていただきたい。（三村委員）
- 協力していただける店舗を増やすためにも、事業者にかかる負担など丁寧に説明していただき、事業者からの声をきちんと拾い上げていただいた上で開始していただきたい。（池田委員）